

# 質 問 通 告 一 覧

第5回島田市女性議会  
平成30年7月30日

島 田 市

◎ 発言順位

				(頁)
1番	岡村	歩	さん (一問一答)	----- 1
2番	高田	麻由奈	さん (一問一答)	----- 2
3番	杉本	実由季	さん (一問一答)	----- 3
4番	大手	理瑛	さん (一問一答)	----- 4
5番	青島	美貴	さん (一問一答)	----- 5
6番	大石	尚子	さん (一問一答)	----- 6
7番	権田	真知子	さん (一問一答)	----- 7
8番	杉山	柚子葉	さん (一問一答)	----- 8

## 1. 1番 岡村 歩 さん (一問一答)

### 1. 「産む場所」の提供・誘致について

島田市では婚活事業、移住者への補助、待機児童ゼロ達成など「島田市に住みたい、育てたい」につながる素晴らしい事業がたくさんある。しかし、肝心の「産む場所」がない。「自分の住んでいるまちで安心して子供を産める」という環境が必要だと思う。

私は、地域の分娩施設のひとつとして「助産院」の誘致を提案したい。ハイリスク分娩を病院、自然な分娩を助産院と分担することで、産科の疲弊を軽減することにもつながる。また、助産院の役目は分娩にとどまらない。助産師が産前産後を一貫して支援し、寄り添う存在になることで産む力を引き出したり、女性が自分の体や妊娠・出産についてきちんとした知識を得るために相談できる場所になりうると考える。

そこで、以下について質問する。

- (1) 市民病院での分娩取り扱いの再開予定や産科医院の新規開設予定等があるか。
- (2) 新市民病院建設で産婦人科に対する構想があれば聞きたい。

### 2. 幼少期からの性教育を

現在の子供たちは容易に情報社会にアクセスできる。Y o u T u b e で幼児に人気のキャラクターを検索するとトップに出てくる映像が女性の裸を連想させるものであったりと、性の情報に触れる機会や感覚が親世代と違う。

一方で、性犯罪は赤ちゃんの頃から男女関係なく被害に遭うと言われている。登下校中、学校生活、習い事中の事件も多い。性犯罪者への質問に対する答えでは、狙いやすいのは「性教育を受けていない子」という結果が出ていると知った。防犯対策にも必要となってくる「性教育」だが、親自身が恥ずかしいもの、人には聞けないものとして育ってきた環境の中で、伝え方がわからずにいる。子供からの「どうやって生まれてくるのか」といったせつかくの質問に否定的な返答や表情をしてしまうと、子供はその後、二度と聞いてこないだろう。そのような関係の中で、万が一子供が被害に遭ったときに、親に報告してくれるか。そもそも、されていることが性犯罪であると本人が気づけるかが不安である。

そこで、以下について質問する。

- (1) 小中学校、また幼稚園・保育所等における性教育の頻度や内容について教えてほしい。
- (2) 助産師や性教育を伝える民間の専門員による保護者向け・子供向けのおはなし会を、学校や幼稚園・保育所等で定期的開催することができないか。

## 2. 2番 高田 麻由奈 さん (一問一答)

### 1. 観光案内所の活性化について

私は、ことし3月に、アメリカのリッチモンド市に学生親善使節として派遣され、リッチモンド市民との交流などの体験をしてきました。渡米するときに島田市の観光パンフレットなどの英語版を現地に持っていこうと思い、観光パンフレットをもらうために島田駅前の観光案内所に出かけました。島田駅構内には観光案内所の誘導表示がありましたが、その先の観光案内所にたどり着くのに、わかりにくく苦労しました。

そのこともあって、観光案内所の認知度がまだまだ低いのではないかと感じています。市民にとっても利用する価値のある施設だと思いますので、観光案内所の存在を広めたいと思います。そうすれば、おのずと島田を訪れる観光客にも広められるのではないかと思います。

また、東京2020オリンピック、パラリンピックに向けて、国際交流が盛んになり、島田市にも外国人観光客がたくさん訪れるのではと思う中で、観光案内所をもっと活用できないかと思っています。

そこで、次のとおり質問します。

- (1) 現在の観光案内所の利用状況はどうですか。
- (2) 観光案内所を含めた島田市の外国人観光客に対する取り組みについて教えてください。
- (3) どのようにしたら観光案内所の認知度を上げられますか。
- (4) 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、島田市として、現在取り組んでいることを教えてください。

### 2. 子供が安心して暮らせるまちづくりについて

最近、隣の藤枝市で小学生が不審者に刃物で切りつけられる事件が発生しました。私自身も、歩いて高校へ通っていますが、友達が下校中の暗い夜道で不審者に遭遇し、怖い思いをしたという体験談を聞いてとても不安です。市内には幾つもの小中学校があり、特に小学生など小さい子供たちが怖い思いをしないためにも、環境を整えることはとても重要だと考えます。

そこで、子供の安全・安心のため、島田市が行っている不審者対策の取り組みと、子供たちの居場所づくりの現状についてお聞きします。

- (1) 現在、島田市でこのような事件は起こっていますか。
- (2) 子供の安全のために行っている市の取り組みについて教えてください。
- (3) 子供を預けられる放課後児童クラブは十分ありますか。
- (4) 子供が安心して遊べる見通しのよい広い公園をもっとつくったらどうでしょうか。

### 3. 3番 杉本 実由季 さん (一問一答)

#### 1. 地域における男女共同参画の推進について

毎日の暮らしの中で地域の人たちとの関わりはとても大切なことだと思います。

子供たち、高齢者、全ての人たちが暮らしやすい環境をつくるためには男女問わず、皆が気持ちよく地域の活動に参加できるようになってほしいと思います。

学校や職場では、性別にかかわらず一人一人の能力や個性が発揮できるような環境づくりが進められていると思います。以前、PTA会長を務めたことがあります、男女問わず役員が協力し活動をしてきました。

現在、地域の本部役員を務めさせていただいています。活動していると、固定的な男女の役割分担意識があることを感じます。もちろん、男性にしかできないこともあります。しかし、女性だからできないと疎外されている雰囲気も感じとれます。理解されている男性もいますがこのように考える方も少なくありません。

家事、育児、仕事をこなしながら役員会、地区の常会、部会などに出席している女性はいます。遅刻早退が必要なときはあります。しかし、その理由が子供関係だと言いつらい、伝えた後の罪悪感や違和感。家事や育児は女性がやるものと思われながらも、子供を理由に出したときの理解の乏しさはまだまだあることを感じます。

これからもっと皆が楽しく暮らしやすい地域づくりをするためには、男女がともににかかわり、さまざまな視点を生かし協力していくことが必要だと私は思います。

そこで、次のとおり質問いたします。

- (1) 自治会やコミュニティー組織の会長や副会長の女性の人数、また女性の占める割合はいかがですか。
- (2) 地域における男女共同参画推進のため、市ではどのような取り組みをされていますか。

#### 4. 4番 大手 理瑛 さん (一問一答)

##### 1. 島田市をPRするための市民のアイデアの具現化について

私は六合地区の住民有志と「go!go!Rokugou!project」という地域活性化グループを組織して、平成29年度の島田市緑茶化計画広報用物品制作費補助金を活用し、子供たちが元気に歌って踊れる御当地ソング「おしまちゃんde踊っ茶おっ♪」のCDを制作しました。

活動していく中で、もっと島田市をPRするアイデアや活性化につながる商品化のアイデアが出てきました。市民の中には、きっと自分以外にもいろいろなアイデアを持った人がいるはずだと思います。それらのアイデアをうまくコーディネートし、新たなコンテンツを生み出していけば、さらに島田市のシティプロモーションにつながるものと考えます。

そこで以下のことについて質問します。

- (1) 市民がアイデアを提案できる場や集約できる場、それらを担当する部署はありますか。
- (2) アイデアを具現化するための支援制度はありますか。
- (3) アイデアを埋もらせることなく、コーディネートし、新たなものを生み出していきたいと考えていますが、その場合の支援制度はありますか。

1. 子供たちの主体性を育む教育について

現在、市内の製茶問屋で仕事をしている傍ら、ドリームマップ®ファシリテーターとして、県内の小中学校で「自分だけの夢を描き、それに向かって主体的に生きること」について、さまざまなワークを取り入れながら生徒や先生参加型の授業を受け持つことがあります。

ドリームマップ授業とは、1時間目から6時間目を一日使って、子供たちが、自分ってどんな人だろうという振り返りを軸に、自分にしか描けない夢の地図を作成し、発表しあい、夢を共有し、応援し合う、そして何をすれば夢をかないやすくなるのか伝える課外授業のことです。

「夢なんてないもん」「興味ない」「発表なんて恥ずかしい」「めんどくさい」そのようなふうにご構えている子が発表では目をキラキラさせて自分の夢を語る姿にいつも感動しております。

夢の大小は関係ありません。未来を語る姿勢、伝え合うとうとさ、そしてそれをみんなに分け合えたときの心強さ、それを伝えていきたいと思っております。

これから先の激しい社会の変化に対応していく力を子供たちがどうやって身につけるのか、それには子供たち自身が「自分を知ること」「自分は何にワクワクして体が自然に動くのかな」を知る特別な時間を通して、強い自分軸を身につけていく練習を重ねていくこと事が必要ではないかと考えます。

強い自分軸を作るには、「主体的に生きる力」が不可欠だと思います。

自らの道をブルドーザーのように切り開いて開拓していくには、ゲームやSNSでは感じることはできない、生きたコミュニケーションができること、そしてお互いをよりよく知ることでお互いに応援し合う姿勢というものができることが必要ではないでしょうか。

そのような気づきや発見を分け合える課外授業を子供たちと教育者、親が共有できる機会を公教育の場につくれないかと「子育てしやすいまち、島田市」に期待しております。

- (1) 小中高校の子供の主体性を伸ばす取り組みの具体的な例を教えてください。
- (2) 平成30年度における島田市の教育方針の中に「夢育」が取り上げられています。具体的に教えてください。
- (3) 授業等における外部団体の採用や市民参画について考えを教えてください。

## 6. 6番 大石 尚子 さん (一問一答)

### 1. 小学校のクラブ活動について

小学校のクラブ活動について、現代の子供は、以前に比べてゲームやインターネットなどの普及により、個人でできるものがふえたせいか、人と関わるのが苦手だと思います。

私は、子供のころにもっと人とかかわることを大切にしてほしいと思っています。例えば、ゲームをするにしても古くから日本で親しまれてきた囲碁や将棋など、人とかかわりながら楽しめる遊びをしてほしいと思います。

そこで、小学校のクラブ活動でどのような活動を行っているかお聞きします。

- (1) 小学校のクラブ活動は何年生から実施していますか。また、年間何時間くらい行っているのか教えてください。
- (2) クラブ活動の種類は、学校で決めているのでしょうか。また、現在、学校のクラブ活動で、囲碁や将棋を実施しているところがありますか。
- (3) 夏休みや放課後などで、囲碁や将棋を行う短期講座などがあるのでしょうか。

### 2. 犬・猫の殺処分について

私は現在、犬と猫を飼っていますが、犬はペットショップで購入し、猫は動物ボランティアの譲渡会で譲り受け、家族の一員として大切に育てております。

近年、ペットブームによりペットがふえている一方で、殺処分など、とおとい命が失われている状況も耳にします。

犬と猫の殺処分がなくなることを切に願い、以下の件について質問します。

- (1) 犬・猫の殺処分の現状について伺います。
- (2) 今後、譲渡会の計画はありますか。ある場合、どのように告知していますか。
- (3) 犬・猫ボランティアなどの団体の活動に協力はしていますか。

## 7. 7番 権田 真知子 さん (一問一答)

### 1. 島田市の河川敷グラウンド公園利用について

島田市の河川敷グラウンド公園利用については、グラウンド・ゴルフ、サッカー、野球、ヘリポート、それ用と名目分けされ、各スポーツに対応したことのみに無料使用許可となっており、団体利用のないときは市民が自由に散歩やスポーツ遊び等に利用している。

各場所の名目から外れたスポーツや遊びでの利用について申請許可をとろうとすると、前例がないという理由で施設が利用できなかつたり、利用内容によって施設利用が有料になったりするのとは理不尽だと思う。

- (1) 今後も名目がないことでの利用は許可しない、または有料利用とするのか。
- (2) 利用許可の申請について、電話やインターネットで取ることができるようにするなど、利便性を向上させる予定はあるのか。

### 2. 子供の教育について

現在、子供たちに対して、よい高校、よい大学、よい会社へ就職する、という価値観が重視されており、どう生きていくか、どのようなライフスタイルにするのか、人生に目標をもって生きていくかということが教育に欠けているように感じる。

私は、さまざまな夢や知識を小学生の段階から持つことができるように、子供にとっては遠い存在かもしれないが、金融や経済の仕組みなども教えてほしい。最も子供の身近にいる大人は親や教師であり、親の職種や学校の先生、有名な職業だけが子供が描く将来像のモデルとなる。しかし、そういった狭い範囲の情報ではなく、いろいろな人からの情報を早くから教え、将来の選択肢を広げていくべきだと考える。

そこで、以下について質問する。

- (1) 小中学校では、キャリア教育をどのように教えているか。

## 8. 8番 杉山 柚子葉 さん (一問一答)

### 1. 大井川マラソンコース「リバティ」の活用方法について

私は、これまでに元日マラソンに参加したり、しまだ大井川マラソンinリバティのボランティアに参加しました。マラソンイベントに参加される方の人数や全国各地でたくさんのマラソン大会が開催されている状況などから、マラソンブームを改めて実感しています。

島田市には、大井川河川敷にマラソンコース「リバティ」が整備されており、毎日、市民の皆さんを初め多くの方が、ウォーキングやマラソンの練習をされたり、マラソンコース「リバティ」を利用されている様子を見かけます。

そのような中、女性の更衣室や洗面所が不足しているように感じたため、次のとおり質問します。

- (1) しまだ大井川マラソンの参加人数と男女の比率について教えてください。
- (2) 元日マラソン大会の参加人数について教えてください。
- (3) 日常の大井川マラソンコース「リバティ」の利用者数について教えてください。
- (4) 大井川マラソンコース「リバティ」の環境改善計画はありますか。

### 2. 通学路の照明設備について

近年、通学中の子供が不審者に襲われる報道をよく見かけます。私自身も、下校中の暗い夜道で不審者に遭遇した経験があり、女性や子供が安全・安心に生活できる環境を整えることはとても重要だと考えています。

そこで、通学路の照明設備等、島田市の安全・安心対策についてお聞きします。

- (1) 安全・安心な通学を確保するための市の施策はありますか。
- (2) 危険な場所を明るくしていくための具体的な取り組みはありますか。
- (3) 女性や子供が安心して暮らせるまちづくりの計画案はありますか。
- (4) 先日の大阪地震で建築違反のブロック塀が原因でとおとい命が奪われました。通学路に面したブロック塀の調査は行われていますか。